

[もくじ]

- ・ まんま会・秋からの活動(中村有美)・・・1
- ・ 活動報告(今川将征)・・・2
- ・ 新スタッフの自己紹介(中居史)・・・3
- ・ 英語学習法「多読のすすめ」(松浦豊)・・・4
- ・ 京都コスプレレポート(尾崎智子)・・・5
- ・ 全国合宿報告(大野諒/中村祥規)・・・6
- ・ 理事会より・・・8
- ・ みなもかわらばん・・・9
- ・ スタッフひとこと・・・10
- ・ 編集後記(中村祥規)・・・10

まんま会:

秋からの活動について

10月以降、まんま会の担当者である私は、大阪府内のフリースクールや親の会の情報を長期的に集めています。具体的な内容をお知らせする前に、情報を集めようと思うその背景についてお伝えしようと思います。

ある子どもからのSOS

今年の3月末から6月終わりにかけて、私はある女の子から、SOSの連絡を受けました。その女の子は高校2年生で、不登校をしています。私が岐阜にいたころに、家庭教師をしていた子です。不登校歴は長く、小学校低学年のころからです。大学2年の1月から始まった家庭教師なので、私とその子との付き合いはもう6年になります。

その子から、今年の3月末に、自殺未遂の連絡がありました。5月には「生きていなきゃいけないかな」

というメール。時々様子を見に岐阜へ行っていたのですが、6月の彼女はもう心身ともにぼろぼろの状態になっていました。リストカット、自傷行為が激しく、ノートには生きることへの絶望感から発せられる言葉ばかりが並んでいます。私は、その子の身体中の傷とノート、そしてその子が話す内容を聞きながら、彼女の前では普通に振る舞っていたものの、私はその子がそうまでしなければならぬ現実に呆然としたというか、愕然としてしまいました。

不登校と親としての責任感

一方、お母さんはといえば、そんな状態の娘の様子と反比例するように、とてもはつらつとしていて元気なのです。いえ、元気に振る舞わざるをえないのでしょうか。お母さんは働きに出ていて、家には夜にしか帰ってこられません。帰ってくると、娘の悲惨な現実が待っています。

小学校低学年から不登校である子どもの生活に翻弄されてきたのでしょうか。長い道のりだったのだらうと思います。その道のりを経た結果が今なのです。この上さらに、お母さんは何をどうがんばればいいのか。これ以上家にいられないというのが、お母さんの本心ではないかと思います。お母さんにはもう、娘の現状に真正面から向き合うだけの気力が残されていないように、私には思えてなりません。

岐阜に行った私は、お母さんの手配で関係機関を一通り訪ね、家庭の現実を説明して回りました。話し合いを終えた帰り道でのお母さんとのやりとりが忘れられません。「お母さん、そろそろ限界ですよ。弱音を誰かに言うことで、誰かからの援助が得られることもありますよ」と言う私に対して、お母さんからは返ってきたのは「限界ということに気づきませんでした」という言葉でした。家庭内は回らず、子どもはぼろぼろ

の状態。それでもまだがんばれると思っていたお母さん。お母さんは、小学校低学年のころから不登校のわが子のために、一人ががんばってきました。娘をきちんとした大人にするまで、親としての責任を果たさなければと肩に力が入っていたと思います。

ですが、どこかで娘とずれていたのは間違いないのでしょう。お母さんのやることなすこと、娘のためにはと思えば思うほどうまくいかなかったことが多かったのではないのでしょうか。そして、周囲からは「お母さんもっとがんばれ」「もっとこうしたらいいのに」の言葉。いつも一人で考える日々。そして娘はどんどん、願っているのとは反対の方向へ行ってしまうように見える。お母さんは一人で娘の不登校に立ち向かい、ともに迷いともに考える仲間のない寂しさの中で、子育てをしてきたように思います。

孤立しない、させないために

行き詰まっている状況、長く闘ってきた状況で、「もっとがんばれ」「もっとこうすれば」の言葉は、あまりにも残酷です。「そらしんどいわ」「十分がんばってきたやんか」。こんなねぎらいの言葉こそが、人を勇気づけることがあります。そして一番のエネルギーは、「私たちがいてるで」「一人じゃないで」「何かあったら支えるで」「一緒にやっついこうか」。こうした言葉や雰囲気ではないのでしょうか。

このような悲劇は、この家族だけのことではないと思います。大阪府内には1万人弱もの不登校の小・中学生がいます。フリースクールや適応指導教室に通っている子どもはその2割、多く見積もっても3割程度だと思えます。親の会に参加している場合を含めると4割程度にはなるかもしれません。しかし、過半数の家庭にはまだ、選択しうる程度の情報すら届いていないというのが、実情ではないかと思えます。

孤立した家庭をなくしたい。そんな思いから、私は10月以降、大阪府内のフリースクール・親の会・適応指導教室・学校などへと動ける限り動いていこうと思っています。そして、それらの情報を集約して、1枚のリーフレットにしたいと考えています。最終的には、府内のすべての学校に情報を届ける、これが目標です。あまりにも商売色の強いところは嫌ですが、思いのある支援機関であればどこでもいい、孤立するのではな

く、誰かとつながってほしいというのが、私の願いです。大阪府内の不登校の小・中学生やその保護者のうち、フリースクールや適応指導教室、親の会などに参加しているのは、一握りの人たちです。「一人じゃない」「一緒にやっついこう」。この思いをできるだけ多くの人に届けたいと思います。

まんま会でやる理由

なぜ情報を集めて届けるということをまんま会でやるのか？ それは、まんま会がみなもの会員だけではなく、誰でも参加できる会だからです。きついこともきつとあると思います。それをまんま会のみなさんに強いるつもりはありません。皆さんには、関心のあるときに関心のあるところへ一緒にいていただいたり、集めてきた情報に触れていただけたらいいなと思えます。ただ、時々応援していただけませんか？ 皆さんの気持ちをいただいだけで、私自身、「一人じゃない」と思えるので、もちろん、一緒に動いていただくのも大歓迎です。

関心のある方は、メーリングリストに参加していただけます。ただし、必ず一度はまんま会に参加していただきたいと思えます。顔の見えない関係ではなく顔の見える関係を大事にしたいので。毎月のまんま会のときにも、メーリングリストのお誘いをします。そのときに参加希望を担当・中村までお願いします。(中村有美)

活動報告：5月～8月

どもども、毎度おなじみ(?) フリースクールみなもです。え～、前回から4か月ですね。その前が1年間隔が空いてたから(どこがおなじみなんだか...) ちょっとはましになりましたねえ(笑)。あとはこれを定期的に続けていければ...

いつも通りのみなもの光景

「日常生活派」であり「イベント等は少なめ」っていうのは変わってませんねえ。というか急には変わらないですね。最近ではテレビゲームのほかに遊戯王カードがはやっています。また以前からよくしていた「ゴーストハンターズ」のリメイク版「シャドウハンター

ズ」を手に入れたので、これもよくしていますね。あとはスタッフとおしゃべりしている中で「今の教育の問題点」などをスタッフと議論したり、真剣な話題になることも結構あるのが印象的でした。

イベントあれこれ

[海です♪ 泳いだんです♪] 行ったのは子ども3人とスタッフ3人ですね。うち3人は泳いでました。もう3人は砂浜で穴掘ってました。この日は台風が通過した少し後で、普段よりもだいぶ波が高かったです。でも静かな海よりも乗れるぐらいの波が来た方が楽しいですね。うきわを持ってみんなで波にもまれてました♪ …でも、子どもの体力は無限大ですね。全時間の9割ぐらい水の中にいたような…。僕は最後の30分ぐらいは足がつってリタイアです。いや、スネの「前半分」がつったのは初めてですわ…。



波が高いから、気をつけてね～

[テニス] 最近は野球よりもテニスの方がブームです。運動不足解消のためにもいい感じです。もっとも春の間はよかったのですが、夏になると、あまりにも外が暑すぎてあまりできなかつたっす。秋になったらまたたくさんしよう、と言っています。外部との連携で、インドアテニスコートを借りて他の団体と一緒にやったりもしています。

[ボードゲーム&麻雀会] 神戸のフリースクール「ラミ中学校」さんと、合同でよくやっています。この4か月で3回ぐらいしたのかなあ。1回はラミ中で、2回はうちでやりました。だいたい半分はボードゲーム、もう半分は麻雀に分かれますね。ボードゲームは、初

対面の人とでも、仲良く一つのことを楽しめる環境になりやすいのがいいところです。ラミ中の方と、「このゲームではこうなるよね～」などの話で盛り上がったりのりもしていました。

ちょっぴり受験モードも

[学習] 以前は「月・水・金の夕方」だったけど、最近はその枠はなくなりつつあります。希望者が少ないときはスタッフに余裕があれば好きなときに、希望者が多ければ、他のイベントも含めて時間割を組むようにしています。また、中学3年生の子どもとは、受験のことも相談しながら、学習するようになりました。模擬試験を受けに行ったりもしています。(今川将征)

新スタッフ自己紹介

どーも、はじめまして。新スタッフの中居です。みなもに来てあつという間の4ヶ月でしたが、「ようやく馴染めてきたかなあ？」って感じです。今までボランティアの経験なんてなかった私が、フリースクールに関わろうと思ったきっかけは、弟の不登校でした。学校へ行けないことに悩む弟、どうしたらいいか分からなくて悩む親。双方の立場を見ていた私に出来たことは、お互いの考えや気持ちをそれぞれの分かりやすい言葉で伝えることでした。もどかしい隙間を埋めるまではいなくても、少し近づけることくらいは出来る。フリースクールで、そんな間の立場の私も何か役に立てるかなと思い、みなもにやってきました。

みなもを選んだ理由は、ホームページでしか資料はなかったけど、なんとなくピュアな感じがしたのでd()。来てみて思ったのがやっぱり、みなもは時間の流れが心地いいってことです。せかせかしてなくて、のんびり、それぞれが自分の時間を過ごしてる。でも、「皆で何かやってみようか!？」っていう時の勢いは頼もしいくらい。「～へ行こうか」って話が出たら、自分たちでパッと地図見たりネットで検索したりして計画立てちゃう。ホント、しっかりしてる。ボードゲームで遊んでる時にする計算なんて、皆、私より速いですね、確実に(笑)。ああ、もっと頑張らないと… ^^;

色々な人が来てるのもフリースクールの強みですよ

ね。子ども達やスタッフ、ボランティア。面白いくらい様々な経験や知識を持った人達が集まって、もう図鑑みたい！ そんな中で過ごせるのって自分の世界も広がるし、私自身も経験をさせてもらっています。ま～だまだ力不足ですけど、皆と楽しい時間を過ごせるよう頑張りたいと思うので、どうぞよろしくお願ひします m(_)_m (中居史)



のんびり過ごせるのが、みなものいいところ

学び@みなも： 「多読」という英語学習法にチャレンジしてます！

「多読」って何してるの？

みなさんは、日本語がしゃべれますよね？ でもそれは、日本語の文法の勉強や、辞書を一生懸命引いてきたから、できるようになったのでしょうか…？ 違うと思います。日本語の環境で、日本語ばかりに触れてきたから、勝手に日本語が、いつのまにかできるようになっていたのだと思います。

ところが日本での英語の勉強といえば、大量の英語に触れるというよりも、文法と単語をとにかく暗記していくことが中心で、結局それを6年～10年やっても英語への苦手意識だけが植え付けられて、英語ができるようにはならなかった…という例が大多数だったのではないのでしょうか。

それに対して、今、一部の人びとの間で始められて

いる「多読」という方法は、我々が日本語をできるようになった、「いつのまにか勝手にできるようになっていった」という過程を、英語でもやってみよう、というものです。

英語の本をいっぱい読むって大変じゃない？

具体的には、英語の本をいっぱい読んでいくわけですが(本でなくて、映画やマンガやニュースでもいいんですが)「絵でだいたい話の分かる、ごくごく簡単な短い文の本からはじめる」「自分が面白いと思う本を読む！ 自分にとってつまらない本は読まない！」「100%分からなくても良い。分かる(推測できる)部分+αを楽しめればOK！」「楽しみながら100万語程度読めたら、英語の力はかなりついてはいるはず！(そしてそのまま続けて何百万語も読み、聞きしていけばさらにどんどん!)」という感じです。

最初はごく簡単な文の本を読んでいって、いちいち和訳せずに「英語を英語のまま」理解できるようになることを狙います。分からない単語があっても、絵や文脈からだいたい意味がわかることが多いです。しかしどうしても分からない単語があっても、基本的には辞書を引きません。



英語の本がズラリ。最初は絵本から始めます。

英語で泣いたり、笑ったり…

というのは、「多読」には、「辞書は引かない」「分からないところはとばす」「つまらなければやめる」という、「英語で読書を楽しむ三原則」というものがあるか

らです。読書自体を楽しむことによって、英語に触れている時間が多くなるように…というのが、「多読」の基本ルールなので、読んでいる最中に分からない単語があってもいちいち全部調べる、なんてことはしません（そんなことをしていたら英語の本を読むこと自体がイヤになってしまいます！）。ただし、その本を読み終わった後や、その本を読み返す時に、「この単語の意味はどうも推測が付かないし、どうしても調べたいなあ」と思ったら、調べても構いません。また、誰かに尋ねてみるのもいいと思います（日本語で分からない意味の言葉があったら、普通、人に聞いてみるのが先だったでしょう！）

小さな子どもが、その意味が全部は分かるはずのないテレビ番組や、映画や、本やマンガを楽しんでいる（そしてその過程で日本語をどんどん学んでいっている…）様子を想像してもらえればいいと思います。そして、それを英語においてやるわけです。ですから、分からないところはとばしていいですし、つまらなければ読む（見る）こと自体をやめてしまってOK。「つまらないかもしれないけど、読みなさい（読まなさい）」では、英語をキライにさせてしまうばかりです。

実際、自分が「面白い」と思うレベルで英語の本を読み進めて行くと、最初はたどたどしく追っていた文がすらすら読めるようになってきたり、新しい単語や表現を「おお！なるほど！」と楽しみながら覚えたり、以前は意味がとれなかった文が再読の時には（調べずとも）分かったり、あるいは英語での表現に思わず笑ったり、感動して泣けたり…というようなことが起こってきます。

一緒に始めませんか？

まだ始めたばかりの「多読」ですが、できればどんどんこの活動をやって、また広げていきたいと思っています。「多読」は、それぞれの人が自分のペースで、楽しみながら、有益さを感じながら学んでいけるようになるという、フリースクールのあり方に非常に合う学習法でもあります。

現在、私の手もとには、「多読」の本で紹介されている「多くの人面白いと感じた本」を中心に、計 65 冊の書籍があります（ネイティブの朗読CD付きのものも数冊あります）。絵本形式で、語彙も少なく非常に

分かりやすいものが中心です。またこの他、『Yotsubato!』『Azumanga Daioh』『Hikaru no GO』『BLEACH』『Naruto』『Tsubasa』『カードキャプターさくら(バイリンガル版)』など、英語版のマンガも、計 11 冊あります。可能であれば、各フリースクール（あるいはまたその周辺）の方々と、これらの本を共有してお互いに楽しみながら学んでいくことができたら、と思っています。ご関心をお持ちの方がおられましたら、ぜひ松浦までお問い合わせください。（松浦豊）

「フリースクールみなも」ホームページより、一部を改変して転載



辞書は使わないのが、多読のコツです

京都コスプレレポート！

「BLEACH」のコスプレに挑戦！

4月13日、同人誌即売会やコスプレなどをやっている、コミケというイベントに行ってきました！ 目的は、自分たちで作った衣装を着て、コスプレに参加することです。参加したのは、メンバーの子どもたち2人と、スタッフ4人の計6名。会場の京都まで、松浦さんの車で出かけました。

知らない人のために説明すると、コスプレというのは、マンガやアニメなどの登場人物のコスチュームをまねて、変装することです。私たちが今回コスプレに挑戦したのは、「BLEACH」というマンガのキャラクター。高校生の男の子が「死神」となって敵と戦っていくというストーリーで、「週刊少年ジャンプ」の人気連載マンガです。

手作り衣装のできばえに驚き

和服っぽいデザインの衣装や刀など、みんなが時間をかけて一生懸命作ったものを車に積んで出かけました。衣装は、羽織についている死神の隊番号など、細かい部分まできれいに再現されていたし、小道具も本格的な感じです。私は正直、スタッフと子どもたちだけでここまで本格的につくれるとは思ってなかったの、とても驚きました。

私の衣装も、出発準備の数十分で、買ってきたTシャツに模様をつけてくれました。「こうしたらできる」など色や材料などのアイデアがすぐ出てくるのってすごいことだなあと感じてしまいました。そうそう、私が作ったキャラクターのパペットも持って行きました。さあ、これから出発。髪をセットしたり、忘れ物がないかチェックしたり、楽しみでどきどきです。

お花見のシーズンであったため途中かなり渋滞しましたが、なんとか昼すぎに会場の「みやこめッセ」に到着。現地ではじめに～さんと合流し、衣装に着替えました。



自作のパペットマメットもおとしました

喜助にルキアに一護に変身・・・！？

子どもたちが扮したのは浦原喜助と朽木ルキア、今助さんが主人公の一護、じょに～さんは山田花太郎、私は井上織姫でした。コスプレゾーンに入るとすぐに写真のリクエストがあって、1枚パチリ。そのあとも、「BLEACH」の別のキャラクターのコスプレをしている人がいたので、一緒にとってもらったり、みんなでセットの背景の前でとったりして楽しみました。み

んな本格的なコスプレははじめてだったのではじめは少し緊張していたみたいですが、次第になじんでいったようでした。

コスプレから私服に着替えたあと、同人誌やグッズを見て回りました。お気に入りのキャラクターのグッズなどを見つけて買ったり、イベントに来られなかった子へのお土産を迷ったりしながら、イベント終了時刻近くまで楽しんでから車に戻りました。帰りはみんな少し疲れていたみたいですが、車の中ではしりとりをして時間を過ごしました。無事みなもまで戻って、衣装を片付けて解散。ほんとおつかれさまでした。

私自身も久々のコミケで、とても楽しかったです。こんな機会を与えてくれた子どもたちに感謝です。またみんなでやりたいですね！次は「ファイナルファンタジー」というゲームのキャラクターのコスプレをやろうという案がでてきているみたいです。誰がどんなキャラクターに変身するのでしょうか！？楽しみです
(尾崎智子)

大野くんの全国合宿報告

フリースクール関係者の中で恒例となっている夏の行事に、「登校拒否を考える夏の全国合宿」というイベントがあります。「登校拒否を考える全国ネットワーク」という団体が毎年開催しているもので、全国から1000人近い人が集まる、フリースクール関係のものとしては最大級のイベントです。全国各地を持ち回りで行われていて、今年は、信州は長野市松代で開催されました。

この「夏の全国合宿」に、みなもからもスタッフ4人が参加。その様子について、大野くんのレポートでご報告します。(レポート・大野諒/構成・中村祥規)

8月19日と20日に長野まで行ってきました！目的はスタッフ旅行・・・ではなく、フリースクールの全国合宿に参加するためです。メンバーは、僕と今川さん、じょに～さんとりのりさんの計4人。出発の朝はあいにくの雨でしたが、少し時間がたったらもう上がってました。不思議なもんやな思ってたなら、なんとそこはもう長野！！

4・5時間寝てしまっていたようで、運転手さんに叱られてしまいました。

ああ、ホント~によく寝てたよね、大野くん・・・。「大丈夫です！」っていうから、交替要員のつもりで助手席に乗せたのに、もの見事に爆睡。休憩のS.A.で、炎天下の車中に放置されても起きひんとか、ありえへん・・・（放置する僕らもヒドいけど）。

結局、長野までの約6時間のドライブは、僕とじよに~の2交替制で走破することに。まあ、前日は今助指揮の下、広告器材のうちわ作り（話はややそれますが、今助の自信作だけあって、なかなかの好評でした！）に奮闘してくれていたようなので、それに免じて赦すとしましょ。

到着してからおそばを食べたんですが、雑誌が置いてあるような店なのに、おそばの香りは芳ばしくのど越しは爽やかで、信州そばの底力を感じさせられました。

会場に着いたら、持って行ったボードゲームを広げて店開きをしたんですが、もうそれはそれは大繁盛で、常時4・5人が机にいるっていう感じでした！スマブラには二桁以上いたんですけどね・・・。

けどそこで思ったのが、子供達はほんま人見知り知らんのかいな、ということです。いつもみなもでしてるように、我らの代表今川さんが可愛いカメで大人げないプレイを繰り返しているのにも関わらず、楽しそうにプレイしてくれて、僕が頭とか横腹をつついて嫌がったりしないんです！ほんまなんでこの子らここにおるんやろなあって何回も思いました。

晩はみなさんが野球の話をしている中、運転手の僕はお風呂に入り、フラフラの今川さんを連れてホテルへ向かいました。

合宿には、みなも名物(?)のボードゲームも、多数持って行きました。会場には、子ども向けのコーナーもあるので、みなもからそこにボードゲームのブースを出展するためです。気に入って遊んでくれる子どもたくさんいたみたいで、よかったよね>大野くん。

しかし、大野くんのレポ読んでると、どっちがどっちに遊んでもらってるのか、全然分からへんぞ・・・(;´ー´ A みなもスタッフと遊んでくれた全国の子どもさんに、この場を借りてお礼申し上げます。

夜は、懇親会で、全国の参加者のかたと、硬軟取り混ぜ、いろんな話題で盛り上がってました。ふだんはなかなかゆっくり話せない人と、じっくり話ができるのもこうした合宿の魅力ですよね。野球の話で盛り上がるのがいいのかどうかは分からへんけど、志を同じくする全国の仲間と意気投合できたのは、何よりでした。おおいに話に花が咲いて、結局ホテルに帰ったのは、深夜の1時過ぎでした。



みなものボードゲームが信州に出張です

次の日の分科会では、長野に住んでいる方が多かったのですが、幼稚園の職員さんや現役教員さんもいてはったので、こんな集まりがもっと頻繁にいろんな場所で開かれて現場の人もどんどん参加するようなコミュニティが作れたらなあ・・・と思いました。

合宿では、さまざまなテーマに分かれて、車座になって語り合う分科会が、たくさん開設されています。みなものスタッフ4人も、それぞれの関心に沿って、いろんな分科会に参加してきました。さまざまな立場の人から、現場の生の声が聞くことができるのは、貴重な経験です。

帰りの車は、トンネルが怖いじよに~さんのために愛知あたりまで運転して、味噌カツ丼をたべ

て帰ってきました。食事もおいしく、子供と楽しく遊べて、いろいろな方のお話も聞けたので、本当に参加して勉強になりました。

帰りは、往路のぶんを挽回してもらおうべく、大野くん中心の運転で帰ってきました。けど、何もこんなところで、よけいなこと言わんでもいいものを…。あと、食べ物関係の感想が、やたらと多いような気がするの
は気のせい？

結局この日、大阪に帰ってきたのは、夜の11時すぎ。体力的にはちょっときつかったけど、とても充実した2日間でした。最後になりましたが、長野でお会いした参加者の皆さん、そして、私たちを温かく迎えてくれた全国合宿の実行委員の皆さんには、本当にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

理事会より

経営報告：4月～8月

今年度に入ってから収支の状況です。見ての通り、平均的には月3万円ほどの黒字が出るようになりました。収入が増えたのは体験入会が終わった方が数名いることによります。ですが、特に収入の方はあくまで概算です。というのは、月によって利用プランが変更になる方が結構いるので、月ごとに収入が結構違ってきます。特に7、8月は夏休みということもあり、通常より収入がやや少なくなっています。

支出に関してはスタッフ人数の充実に伴い交通費がやや増加していますが、総合的には一定の値に落ち着いたようです。安定して黒字が出るようになった段階で、少しずつスタッフ給与の支給を開始しようと思えます。

入会者数	
フルタイム会員	4名
夕方限定会員	4名
日数限定会員	5名
体験入会中	0名

(2006年9月現在)

1か月の主な収支			
収入		支出	
月会費	181,150	家賃・水道費	95,000
		光熱費	11,032
		スタッフ交通費	30,880
		電話代	5,468
		インターネット代	4,360
		消耗品費	9,852
	181,150		156,592

(支出項目は2006年4月～8月平均)

他団体との交流

- ・「ふりー！すくーりんぐ」の各種会合に、主に松浦が参加しています。
- ・8/19-20 フリースクール全国ネットワーク/登校拒否を考える全国ネットワーク主催の「登校拒否を考える全国夏の全国合宿 in 長野」に参加しました。詳しくは「大野くんの全国合宿レポート」をご覧ください。
- ・8/26-27 登校拒否・不登校問題全国連絡会主催「第11回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 大阪」に参加しました。
- ・8/25 長崎県のフリースクール「クレインハーバー」の代表が見学に来られました。

NPO 総会を開催しました

特定非営利活動法人フリースクールみなもの通常総会を開催しました。概要は、下記のとおりです。

日時：2006年6月18日 10時00分～12時00分

場所：フリースクールみなも

出席者数：正会員12名のうちの8名(うち委任状出席者数4名)

議事内容：1, 2005年度事業報告及び決算、2, 2006年度事業計画及び予算、3, 2006年度役員を選出。

みなもかわらばん

➤ 「まんま会」のご案内

フリースクールみなもでは、毎月第3土曜日に「みなものまんま会」(不登校の子を持つ親の会)を開いています。「まんま会」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにでも参加していただけます。参加をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第3土曜日の13:30~16:30、
場所：フリースクールみなも、参加費：300円(お茶菓子代として)、アドバイザー：中尾安代さん(みかんさん=結空間代表)、担当スタッフ：中村有美

➤ 賛助会員・カンパのお願い

フリースクールみなもは、不登校の子どもたちに、学校に代わる居場所と学びの場を提供し、不登校の子どもを持つ保護者への総合的な支援を行うことを目指して、有志によって設立されたNPO法人(特定非営利活動法人)です。子どもたちやその保護者・家庭にとっての支えとなるべく、スタッフ一同、活動の充実に日々努めています。

みなもは、民間の支援組織であるため、その活動資金の多くを、事業収入(利用者からの月謝)と自己資金によって賄っています。しかしながら、もとより営利を目的とした事業ではないので、こうした資金だけで行える活動には、限りがあります。

そこで、みなもの活動を応援して下さるかたには、賛助会員への応募、寄付をお願いしています。賛助会員の皆さまには、「みなも通信」をお送りさせていただきます。

また、カンパについては、おいくらでも構いません。切手・学用品・図書など、物品のご寄付も大歓迎です。たとえ少額であっても、皆さまのみなもを応援しようというお気持ちが、私たちにとっては大きな励みとなります。

賛助会費のお支払いは、スタッフに手渡し、または

郵便振替で。郵便振替の場合は、「氏名」「住所」「電話番号」「費目(賛助会費として、とご記入下さい)」「会報への氏名掲載の可否」を備考欄に明記の上、下記の口座まで、お願いいたします。

【賛助会費】1口 3,000円/年(複数口のご応募も歓迎) 振込先：00960-0-204146(加入者名：フリースクールみなも)

➤ ありがとうございました

2004年11月のみなも開設から2006年8月までに、賛助会員への加入、およびご寄付・寄贈をいただいた皆さまのお名前は、以下の通りです。

【賛助会員】K・Sさん、A・Kさん、M・Sさん、S・Oさん
【寄付・寄贈】T・Iさん、T・Sさん、M・Uさん、K・Aさん、Y・Sさん、Y・Aさん、C・Sさん、O・Mさん、S・Mさん、A・Nさん、K・Tさん(PDF版では、プライバシー保護の観点から、すべての方のお名前を匿名とさせていただきます)

➤ ボランティア募集!

フリースクールみなもでは、ボランティアを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格などはありません。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたい、という気持ちがあればOKです。ご関心をお持ちの方は、お気軽にみなもまでお問い合わせください。

➤ 譲ってください!

フリースクールみなもでは、活動をいっそう充実させるため、さまざまな器材を必要としています。ご家庭にあるもので、現在お使いになっていないものがありましたら、みなもまでご連絡ください。現在、必要としているのは、下記の通りです(それ以外にも、フリースクールの活動に役立つようなものがあれば、ぜひご一報ください)。

【必要なものリスト】グローブ/ギター/自転車/いらなくなった教材/本やCD/ノートパソコン(Windows2000またはXPが動くもの)/硬式テニスのラケット・ボール/各種文房具

➤ 掲示板のご紹介

みなものホームページでは、2つの電子掲示板（BBS）を設置しています。このうちの1つ、「不登校・フリースクールなどについて話しましょう」掲示板が、おかげさまで、最近いくぶんか盛り上がりを見せています。

最近、こんな話題が取り交わされています。「奈良の長男自宅放火事件について思うこと」「学校が子どもを型にはめることについて」「英語多読という勉強法について」「地域の動きについて思うこと」。もしよろしければ、一度ご覧ください。書き込みもお気軽にどうぞ。

[URL]<http://cwaweb.bai.ne.jp/~dsssm/bbs2/wforum.cgi>

スタッフひとこと

最近いろんなフリースクールの子どもたちと一緒に草野球チームを結成しました。約15年ぶりの現役復帰です（今）小公女セーラや、ハイジ、南極探検の話を英語の本で読んで泣きました。英語の本で感動したり、笑ったりできることに感動しています（で）

最近、迷子のカワセミの幼鳥を保護しました。生命力を信じて摂津峡に連れて行くと、元気に飛び立ちました。めでたしめでたしです（じょ）フリネットの全国合宿で知り合った子と、伊丹空港のそばに新しく出来た公園に行ってきました。飛行機の離着陸が間近で見られて、大迫力でした（の）久しぶりにみなもの子達と絵を描いてみました。専門学校を出てから真面目に絵なんて描いてなかったのが新鮮でした！これを機にまた練習してみようかな♪（史）ごぶさたしてます。8月下旬にハワイはマウイ島に一週間行ってきました。極彩色の花・海は透き通ってて、フルーツがおいしい…天国でした！（く）僕は最近会話が中心。漫画やアニメ、ゲームなど。話が合う人、みなものにどうぞ。お待ちしております、あなたのことを（生）みなもから一步離れて、閑空で国際貨物を取り扱う仕事に就きました。初めは、仕事についていけるか不安でしたが、ようやく少し慣れてきたところです（マ）

編集後記

というわけで、お届けしました、「みなも通信」第3号。今回は、前号よりさらに2ページ増量の全10ページ。本当は、記事を小出しにして、そのぶんもう少しマメに発行したいと思っているのですが、なかなかうまく行きません。

それにしてもこうして見ると、みなもの活動もだんだん幅が広がってきましたね。ふだんはみなものに足を運べない皆さんにも、みなもの雰囲気の一部をお伝えできれば幸いです。（中村祥規）

団体概要

団体名：特定非営利活動法人 フリースクールみなも
（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤2名（ほか非常勤数名）

オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目11番4号ふじビル502号（地下鉄「南森町」駅から徒歩5分、各線「梅田」駅から徒歩20分、JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩7分）

対象年齢：6歳～20歳

活動時間：月曜日から金曜日の13時～20時

入会説明会：随時（体験入会は無料、6週間）

『フリースクールみなも通信』第3号

発行日：2006年9月21日（本号10頁）

発行者：特定非営利活動法人・フリースクールみなも
（理事長・今川将征、2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

編集担当：中村祥規

住所：〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目11番地4号 ふじビル502号

電話・FAX：06(6365)7705